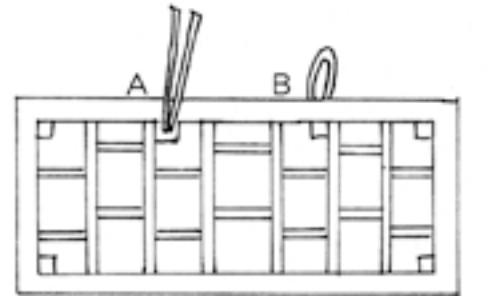


## 袈裟を着てみよう！



袖も襟もボタンもない袈裟。どうやって着るのかな？  
袈裟は、種類や宗派によっていろいろな着方があるけれど、  
その中のひとつを紹介するよ！

袈裟のA部分を左手で、B部分を  
右手で持ち、背中に回し掛けます。



①

B部分を右脇下から通し、  
Aの紐をB部分の紐と結び  
ます。



②

最後に、右手側に  
垂れた部分を内側  
に挟みこんで…



かんせい  
完成！

## ◇「ああげさ」という言葉は…

みなさんも日常会話のなかで、話の内容や人の振る舞いが事実より派手だった場合、「ああげさな話」とが「ああげさに痛がる」といったふうに使うと思います。

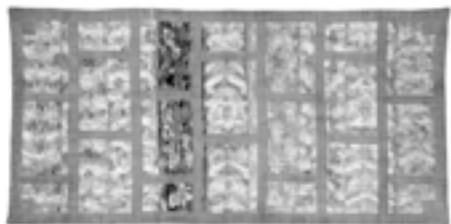
「ああげさ」という言葉は漢字にすると「大袈裟」。そう、まさにこれまで見てきた袈裟なのです。

鎌倉時代に中国から日本に伝えられた禅宗ですが、禅宗の袈裟はほかの宗派と比べてとても大きく、幅3.5mほどもあるものでした。当時の人々はその袈裟を目にして驚き、それまでの袈裟より大きい袈裟=「大袈裟」と呼びました。

これが「ああげさ」という言葉のはじまりともいわれています。

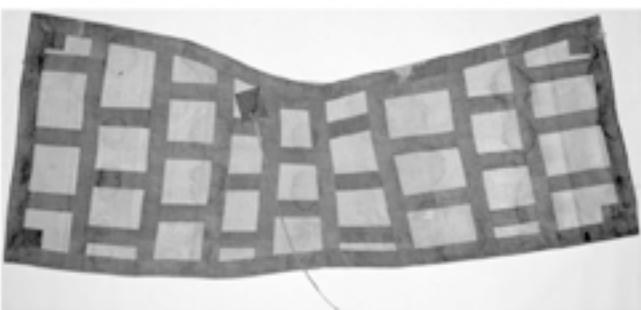
(平安時代に中国から日本にもたらされた袈裟)

◆9 国宝 刺繍七条袈裟 延暦寺蔵 丈132.0cm 幅260.0cm



(鎌倉時代に中国から日本にもたらされた袈裟)

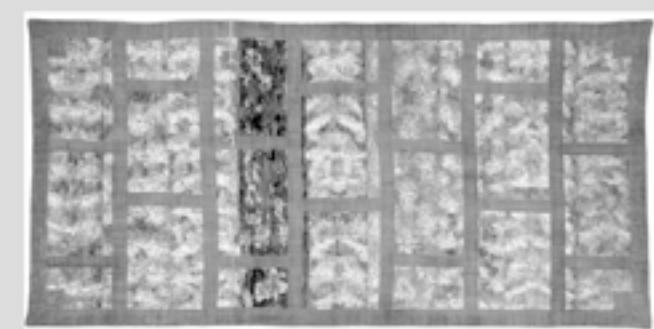
◆46 重要文化財 九条袈裟 妙光寺蔵 丈137.0cm 幅349.5cm



特別展覧会  
高僧と袈裟  
—こころもを伝え こころを繋ぐ—  
2010年10月9日(土)～11月23日(火・祝)

[小・中学生向けワークシート]

袈  
裟  
つ  
て  
な  
あ  
に  
?



### ■袈裟のはじまり

古代インドで生まれた仏教。袈裟は、仏教の修行をしている人たちと、ほかの宗教の修行をしている人たちを見分けるために決められた制服でした。広げると、四角い生地が繋なぎあわされていることがわかります。

仏教の修行者が守るべき規則である「律」には、釈迦が水田の連なる風景を見て、これに似せて修行者の衣服を作りなさいと告げたという話が出てきます。また、袈裟に最もふさわしい生地として挙げられているのは「糞掃」です。「糞掃」とは、人が捨てたものを拾い集め、洗って縫いつないだ生地のことです。

上の袈裟(9番)は、実際には拾い集めた生地ではありませんが、そう見えるよう意図して作られた袈裟です。

*Transmitting Robes, Linking Minds  
—The World of Buddhist Kasaya*

## 「けさ」を漢字で書いてみよう

「けさ」って漢字で書けるかな？

二つとも「衣」という字がついているよ。

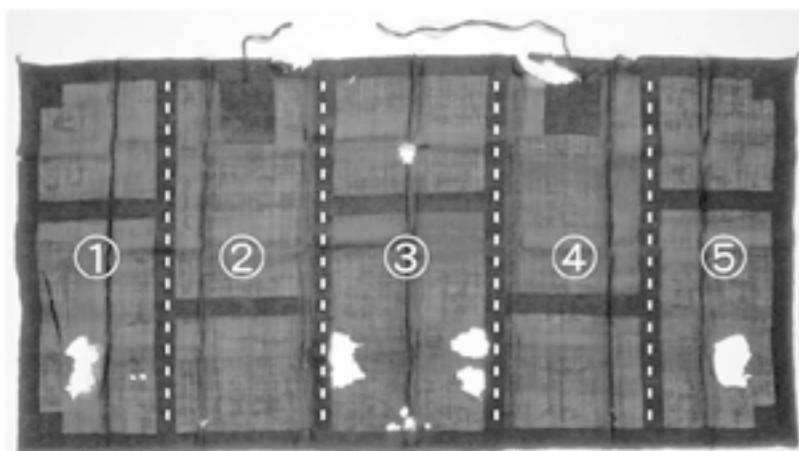


ちょっと難しいけど  
頑張って！

### ◇「袈裟」は色の名前？

「袈裟」は、古いインドの言語(サンスクリット語)の「kaśāya(カシヤーヤ)」という言葉の発音を、漢字で表したもので。「kaśāya」の意味に合わせて漢字にした場合は「壊色」となります。 「壊色」とは色の名前で、青系統、茶系統、赤系統などいろいろな色調がありますが、簡単にいって暗い汚い色のことです。  
仏教の修行者の服は、「壊色」とするよう「律」で定められています。

## 袈裟を広げて見てみよう



◆41 五条袈裟 法然料 京都・清淨華院藏

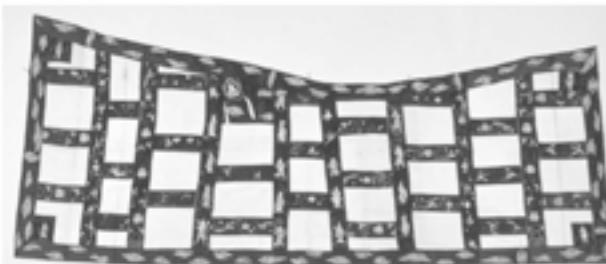
袈裟は、縦に区切られている数に応じて五条袈裟、七条袈裟、九条袈裟などと呼ばれます。

五条袈裟は作業着、七条袈裟は普段着、九条以上の袈裟は正装に用いられるといわれています。

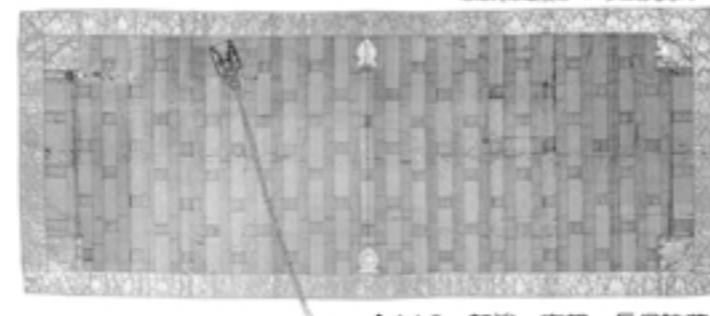
左の袈裟(41番)は、5つに区切られているので、「五条」の袈裟となります。

何条あるかな？  
数えてみよう！

こたえは最後のページにあるよ！



◆81 刺繡袈裟 京都・天授庵藏



◆116 袈裟 京都・長得院藏

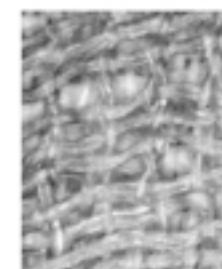
条袈裟

## 近づいてじっくり見てみよう

近づいてよく見ると、模様があるのがわかるかな？  
お花の模様が、袈裟のどの場所にあるのか、探してみよう！



生地は、たて向きの糸とよこ向きの糸が組み合わされてできています。糸の組み合わせ方(織り方)を変えることによって模様をあらわしています。



↑たて糸  
←よこ糸

顕微鏡で拡大して  
見てみると…

アップになると  
ビックリ！

## 教えを伝えたあかし～伝法衣～

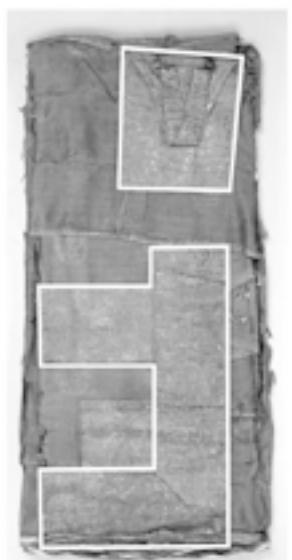
夢窓疎石というあ坊さんゆかりの、700年ほど昔の袈裟が新しく発見されました(89番)。

袈裟が発見された天龍寺は、菩提蓮磨ガインドから中国に伝えたとする禅宗のお寺です。

禅宗では、文字(お経)よりも、師(先生)から弟子へ、直接教えを伝えることが大事だとされ、師が大きな意味をもちました。そのため、師から袈裟や肖像画(頂相)などを与えられることが、正しく教え(法)を受けついだ証となりました。

こうして禅宗寺院に何百年も伝えられてきた袈裟を、「伝法衣」と呼んでいます。

新発見の袈裟は、肖像画(90番)に描かれた袈裟ととてもよく似ていることから、夢窓疎石本人が着ていたものではないかと考えられます。また、この袈裟が大切に受け継がれていたことが、古い時代の記録からも確かめられます。



◆89

九条袈裟  
夢窓疎石料

京都・天龍寺藏

(新発見)



◆90 重要文化財 夢窓疎石像 部分  
京都・鹿王院藏

私の教えをきちんと受け  
継いだ弟子にだけ伝える  
特別な袈裟なのだ…

四角で囲んだ部分と、矢印  
で指した部分の模様を見比べ  
てみよう！  
どちらも、キラキラした、  
お花の模様があることがわ  
かるかな？